

藤山中学校 「ヤング自治会」の取組

1 活動の特徴

生徒の地域貢献活動を持続可能とし、生徒自身の自己肯定感や地域の一員としての自覚を高めるために全校生徒で取り組む学習活動。

(特徴1)

学校における総合的な学習の時間を利用し、実際に生徒が居住する地域ごとのグループごとに、その地域をよりよくするためにできることを企画し、実践する。
年間8～10時間分の総合的な学習の時間を利用。



ヤング自治会の授業

(特徴2)

希望生徒による地域貢献活動の「地域元気応援隊」と同じく、地域住民と積極的に関わりをもち、地域住民と協働して地域を活性化させる活動。

地域との関わり① 地域の自治会役員との関わり
地域との関わり② 学校運営協議会委員との関り

2 活動の具体

(地域活性化プロジェクト)

○地域貢献活動

自治会総会に生徒が参加し、自治会の活動への参加を説明。

各自治会からの要望に応じて生徒が自治会の活動に参加。

学校運営協議会の熟議に実際の自治会役員を招いて、生徒も熟議に参加。



地区自治会役員会でのPR活動



学運協での自治会長との熟議

○地域の公園活性化プロジェクト（R5）

自治会ごとに身近な公園の利用について考え、地域住民と共に有効利用する方法を企画し実行。

夏休み及び冬休みに計画を実行。地域に案内を出し、地域住民と共に清掃活動やレクリエーションなどのふれあい活動を実施。

地域住民や地域企業の協力により、廃品回収や遊具の整備（ペンキ塗装）などが実現。



ヤング自治会による自主廃品回収



ヤング自治会による遊具のペンキ塗装

○地域の防災推進プロジェクト（R6）

自治会ごとに危険個所や災害時の避難経路について確認。

地域ぐるみの防災キャンプ（9月開催予定）に地域住民と共に参加。